

令和6年度 第2回
全国健康保険協会岐阜支部評議会

岐阜支部の課題を踏まえた今後の取組について

1	◎ 生活習慣病予防健診（被保険者）と特定健診（被扶養者）ともに受診率が低い ・被保険者の受診率は全国平均は上回っているものの、下位である。 ・被扶養者の受診率は全国平均を下回っている。
2	◎ 診療時間外の受診が多い ・2022年度より初診は減少、再診は増加しており、全国順位は下位である。 ・岐阜、西濃、中濃地域での時間外受診（初診・再診）が多い。 「地域差指数－1」を比較(*)
3	◎ 生活習慣（飲酒・睡眠）の要改善者割合が多い ・飲酒習慣要改善者の割合が男性は全国のなかで下位である。また、女性は中位であるものの年々悪化傾向にある。 ・睡眠で休養が取れていない者の割合が男性・女性ともに全国平均以下であり、かつ悪化傾向にある。

(*) 「地域差指数－1」について・・・全国平均と比較した場合の高低を見ることができます。

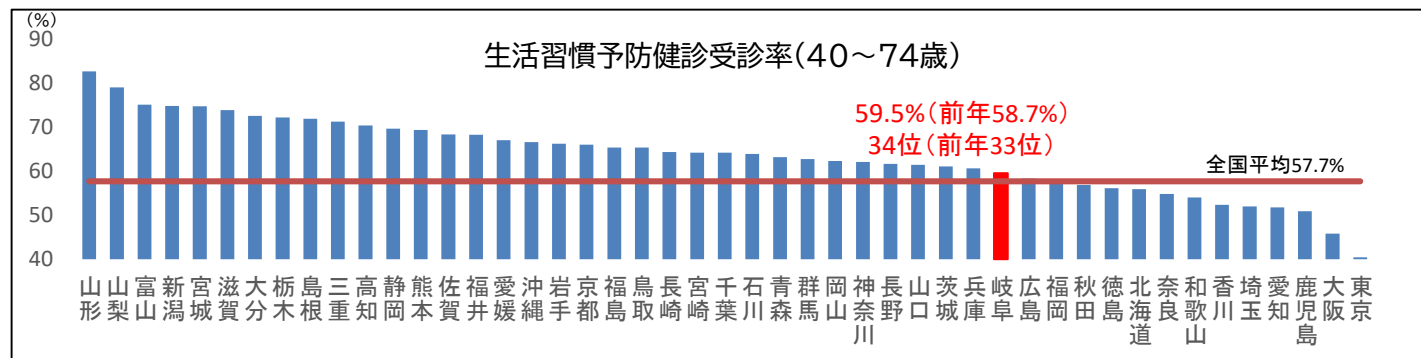
地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を「0」として指数化したものであり、0より大きい数値であれば全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば全国平均より低い水準にあることを示しています。

① 生活習慣病予防健診(被保険者)と特定健診(被扶養者)ともに受診率が低い

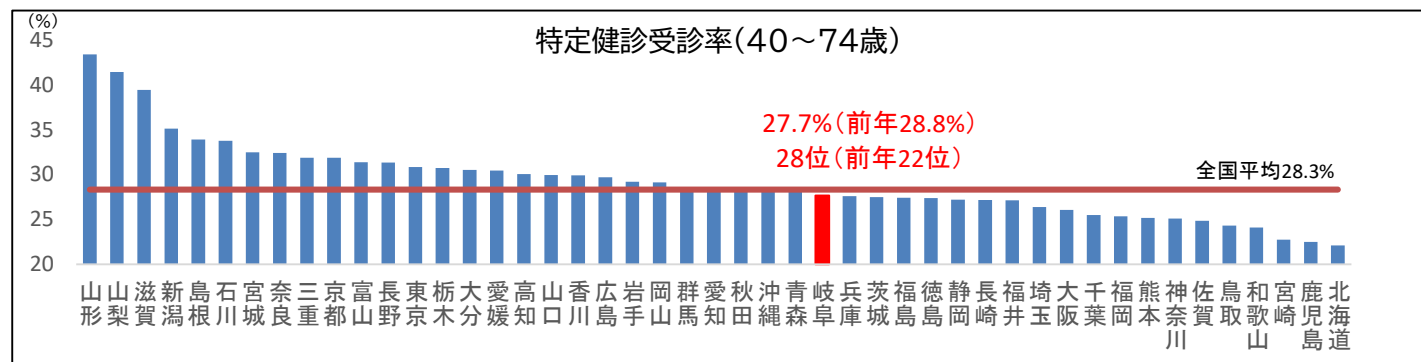
現状評価

- ・ 被保険者の受診率は全国平均は上回っているものの、全国順位は下位である。
- ・ 被扶養者の受診率は全国平均を下回っている。

被保険者



被扶養者



*2023年度支部別スコアリングレポート（岐阜支部）より抜粋

課題

- ・ 生活習慣病予防健診の受診率は年々伸びているものの低い。
- ・ 被扶養者の受診率が低く、約3/4程度は協会けんぽの特定健診を受診していない。

① 生活習慣病予防健診(被保険者)と特定健診(被扶養者)ともに受診率が低い

施策(案)

■生活習慣病予防健診

- ・事業所への受診勧奨（電話、文書等）や**定期健診から生活習慣病予防健診への切替を促す。**
- ・未受診者に対する個人あて受診勧奨を実施する。
- ・健診実施機関による事業所への受診勧奨を実施する。
- ・**新規健診受託機関獲得**のため職員の訪問等による交渉を行う。
- ・協会けんぽの広報誌等で、自己負担額の減額、付加健診の対象年齢拡大をPRし、定期健診から生活習慣病予防健診への切替を促す。

■特定健診

- ・オプション付集団健診（おてがる健診）を実施する。
- ・オプション付集団健診（おてがる健診）の文書勧奨を行う。
- ・**岐阜県や市町村と連携**した集団健診の充実を図る。
- ・**受診者データの分析による勧奨対象の選定**および受診勧奨を行う。

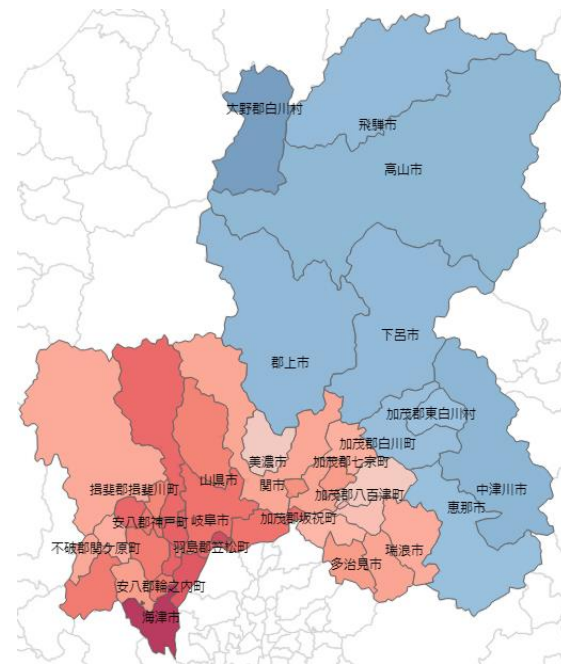
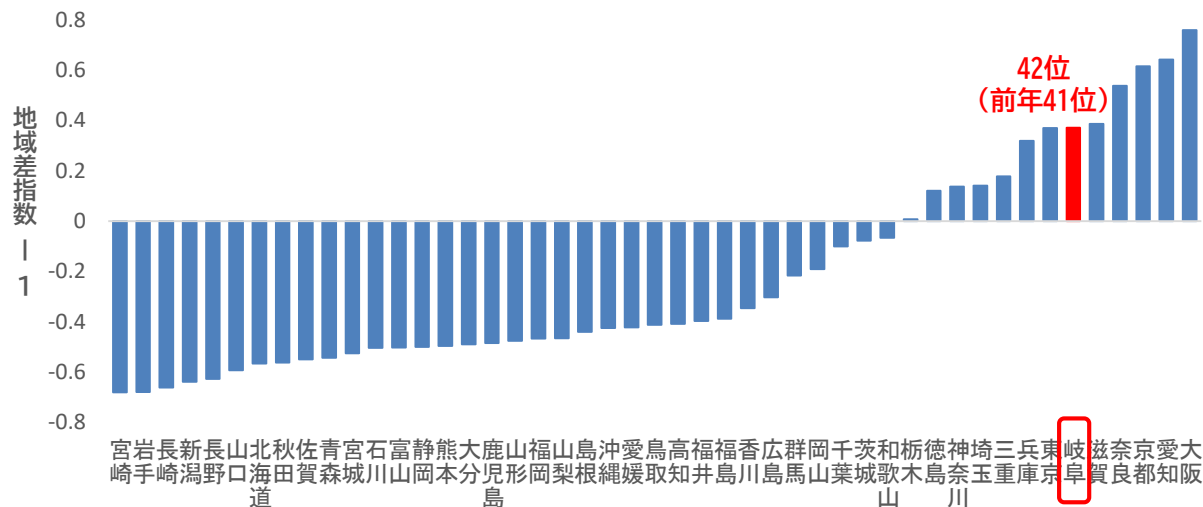
<検証方法>

- ・生活習慣病予防健診受診率、特定健診受診率により検証を行う。

現状評価

- ・ 2022年度より初診は減少、再診は増加しており、全国順位は下位である。
- ・ 岐阜、西濃、中濃地域での時間外受診(初診・再診)が多い。

時間外受診（再診）「地域差指数-1」（2023）



海津市、岐南町が特に高い。
※ 加入者の住所地で抽出

課題

- ・ 加入者1人当たりの受診回数が全国平均より多く、費用がかかっている。
- ・ 2022年度より初診は減少、再診は増加しており、全国順位は下位である。
※ 初診42位（前年41位）、再診42位（前年41位）
- ・ 岐阜、西濃、中濃地域での時間外受診（初診・再診）が多い。
- ・ 年末年始に時間外受診が増加する傾向がある。
- ・ 再診での診療時間外受診が多いため、緊急でないケースが含まれると考えられる。

② 診療時間外を受診が多い

施策(案)

■効果的な啓発（広報）の継続実施

- ・ 年末受診に向けた広報を実施する（ホームページ・メールマガジン・広報紙等）
- ・ #8000（子ども医療電話相談事業）の広報
- ・ #7119（救急安心センター事業）の広報

■上手な医療のかかり方.jp（厚生労働省）との連動

- ・ 診療時間外受診は医師の過重労働の一因となっていることを広報する。

■市町村等との連携

- ・ 医療費の適正化に関することであるため、保険者協議会や自治体との効果的な連携をする。

<検証方法>

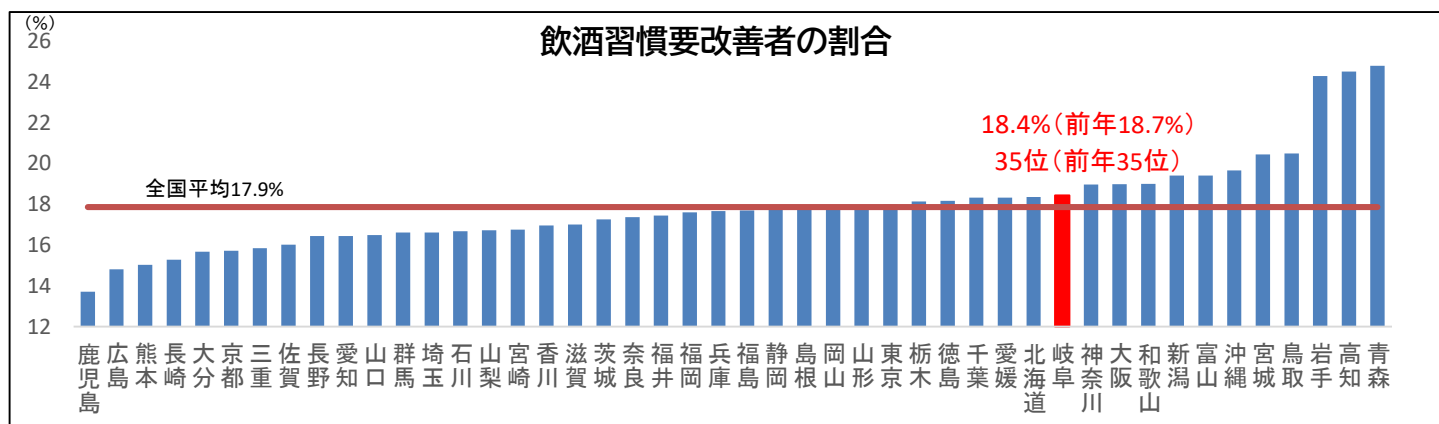
- ・ 時間外受診の加入者1人当たり算定回数や市町村別医療費の地域差指数の変化により、効果を検証する。

③ 生活習慣(飲酒・睡眠)の要改善者割合が多い

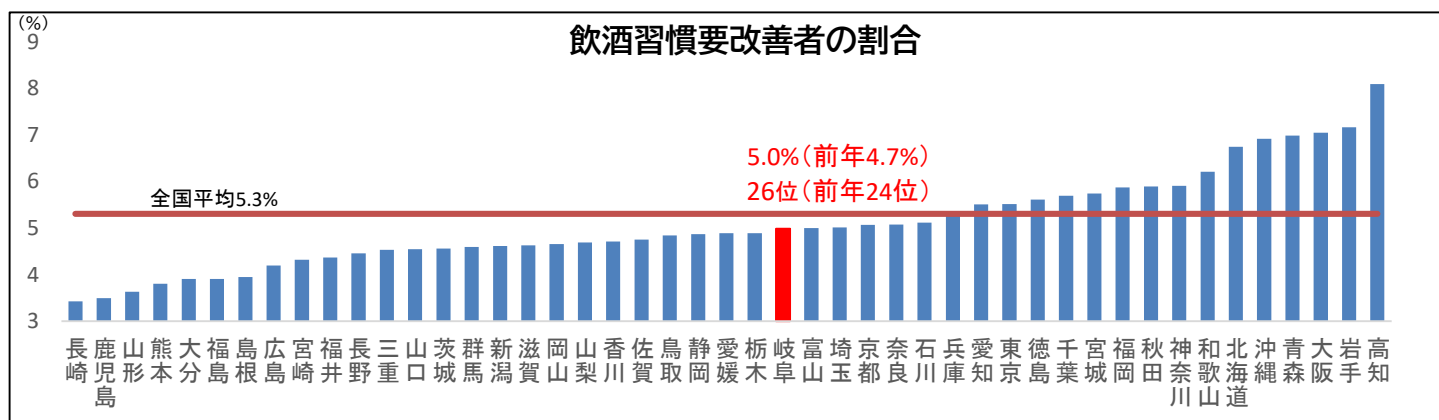
現状評価

- ・ 男性の全国順位は下位であり、女性は全国平均よりも低い。

男性



女性



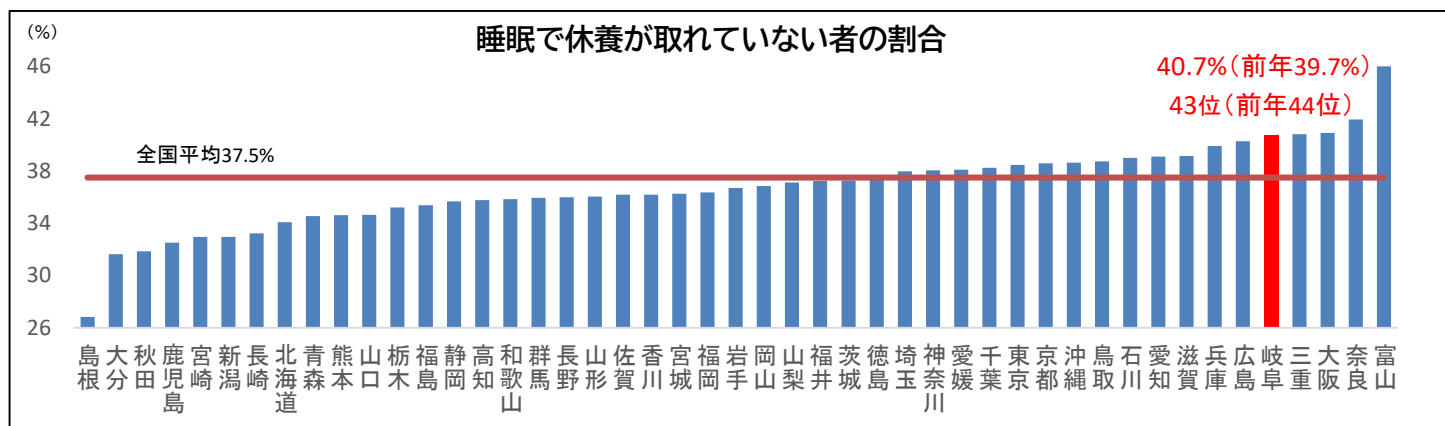
* 2023年度支部別スコアリングレポート（岐阜支部）より抜粋

③ 生活習慣(飲酒・睡眠)の要改善者割合が多い

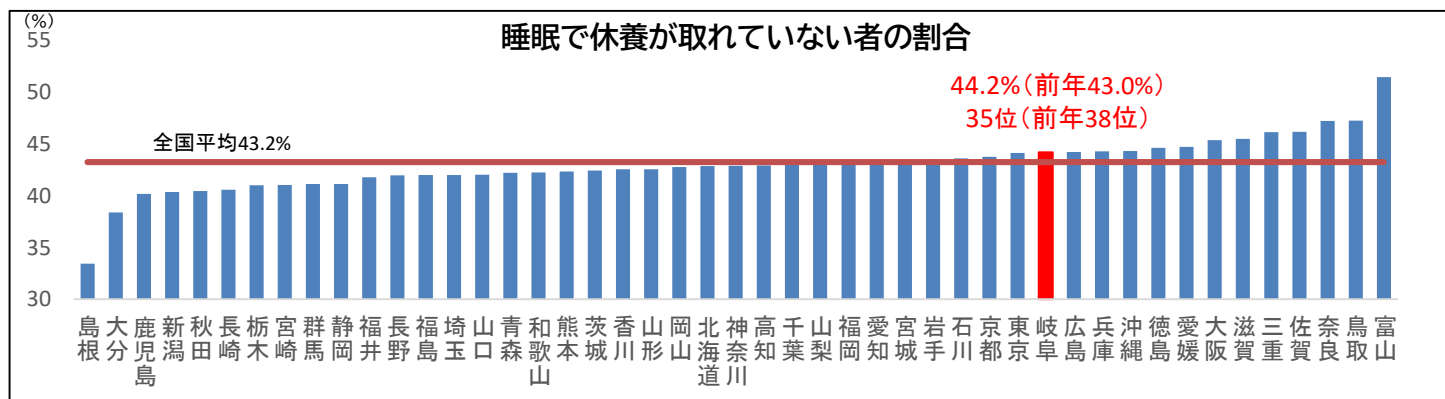
現状評価

- ・ 男性、女性ともに全国順位は下位であり、全国平均を上回っている。

男性



女性



* 2023年度支部別スコアリングレポート（岐阜支部）より抜粋

③ 生活習慣(飲酒・睡眠)の要改善者割合が多い

課 題

- ・ 飲酒習慣要改善者の割合について男性は年々改善傾向であるものの全国平均より高く、女性は全国平均よりも低いながら年々悪化傾向にある。
- ・ 睡眠で休養が取れていない者の割合について男性・女性ともに年々悪化傾向にある。
特に睡眠不足はメンタルヘルス不調が契機となっている可能性があるため、対策する必要がある。

施策(案)

■ 「職場の健康講座」を開催する

- ・ 健康宣言事業所や健康保険委員設置事業所に対し、「職場の健康講座」として飲酒、睡眠、運動、禁煙、減塩の講座を実施する。
- ・ 講座の開催は、専門の外部業者へ委託する。
- ・ 開催する事業所には、健診、保健指導、健康宣言に関する勧奨を行う。

■ 事業所への情報提供

- ・ 飲酒、睡眠、メンタルヘルス、運動、禁煙に関する情報や減塩レシピを事業所が自由に活用できるようHPへの掲載を引き続き行う。
- ・ LINEやメルマガを活用して、飲酒や睡眠等の情報提供を行う。
- ・ メンタルヘルス支援を行っている産業保健総合支援センターと連携してメンタルヘルスセミナーやチラシの配付を行う。

<検証方法>

- ・ 問診結果の変化について、健康講座の実施と未実施、健康保険委員設置の有無や健康宣言の有無により効果を検証する。